

【市民提案】

14. シンボルマーク、キャラクターの作成

【主旨】

1. シンボルマークやシンボルキャラクターを作成し、川崎宿を広くアピールしましょう。
2. 川崎宿の顔が決定することで、宿場町としてのアイデンティティを確立します。
3. キャラクターグッズを作成、販売することにより、川崎宿資料館の運営や各種イベント開催時の資金を獲得することを目指します。

【内容】

1. シンボルマーク、シンボルキャラクターの作成

- 六郷の渡し、万年屋など、川崎宿ならではの素材をもとに、シンボルマークやシンボルキャラクターを、市民参加で作成しましょう。
- 広く一般に公募し、区民による選定委員会を組織して、最終的に決定しましょう。

2. シンボルマーク、シンボルキャラクターの活用

- 川崎宿を全国に向けて情報発信するために、シンボルマークやシンボルキャラクターを大いに活用しましょう。
- 着ぐるみを製作してキャンペーンやイベントに参加したり、地図、パンフレット、名産品パッケージなどの印刷物に掲載するなど、有効に活用しましょう。
- 道路整備や、案内サインの整備の際にもキャラクターを活用しましょう。

3. 関連商品の販売

- ぬいぐるみ、キーホルダー、携帯ストラップなど、シンボルキャラクターをデザインしたキャラクターグッズを作成し、販売しましょう。



静岡県「東海道四〇〇年祭」のキャラクター「道しるべえ」



東海道宿制 400 年を記念し、神奈川県が展開した東海道ルネッサンスのロゴとキャラクター

川崎宿のキャラクターとして考えられる候補

渡し舟や船頭さん	渡し舟で川を越えて、宿場に入ってくるという川崎の宿場としての特徴を活かす。
鶴・亀	万年屋からの連想。ただし隣の神奈川宿が、すでに亀をキャラクターとして使っている。
蟹	医王寺の伝説から。(火災の際に鐘つき堂を蟹達が守った。)
象	六郷の渡しを渡ったという象。
ゆかりの人物	休愚くんや九ちゃん。
閻魔くん	一行寺の閻魔さま。
その他	川崎宿にゆかりのあるものからならなんでも。